

NSG

GROUP



NSG グループ

2019年3月期第1四半期決算報告

(2018年4月1日～ 2018年6月30日)

日本板硝子株式会社
2018年8月2日

諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

イアン・スミス

執行役員 グループファイナンス担当ディレクター

目次

1. 2019年3月期第1四半期 決算概要
2. 2019年3月期第1四半期 事業状況
3. その他の取り組み状況
4. まとめ

2019年3月期第1四半期 決算ハイライト

売上高	1,584億円 (前期比 +9%)	欧州を中心にVA製品の販売増や好調な市場環境を反映し増収
無形資産償却前 営業利益	102億円 (+12%)	欧州自動車用ガラス、高機能ガラスを中心とした改善により増益
個別開示項目	24億円	ベトナムの休止フロート窯再稼働に伴う減損損失の戻入益を計上
親会社所有者に 帰属する当期利益	54億円 (+131%)	個別開示項目において一過性の収益計上もあり、前期比増益
フリー・キャッシュ・フロー	△106億円	運転資本の季節変動によりほぼ前年並

VA製品の販売増や世界的に好調な市場環境を反映し、増収増益を達成

連結損益計算書

(億円)	2018年3月期	2019年3月期	2019年3月期	2019年3月期
	4月-6月期*1	4月-6月期	上半期	通期
売上高	1,453	1,584	3,100	6,300
無形資産償却前営業利益	91	102		430
償却費 *2	(5)	(5)		(20)
営業利益	86	97	180	410
個別開示項目	(4)	24		(70)
金融費用 (純額)	(39)	(32)		(130)
持分法による投資損益	3	4		30
税引前利益	46	93		240
当期利益	27	60		160
親会社の所有者に帰属する当期利益	23	54		140
EBITDA	154	167		

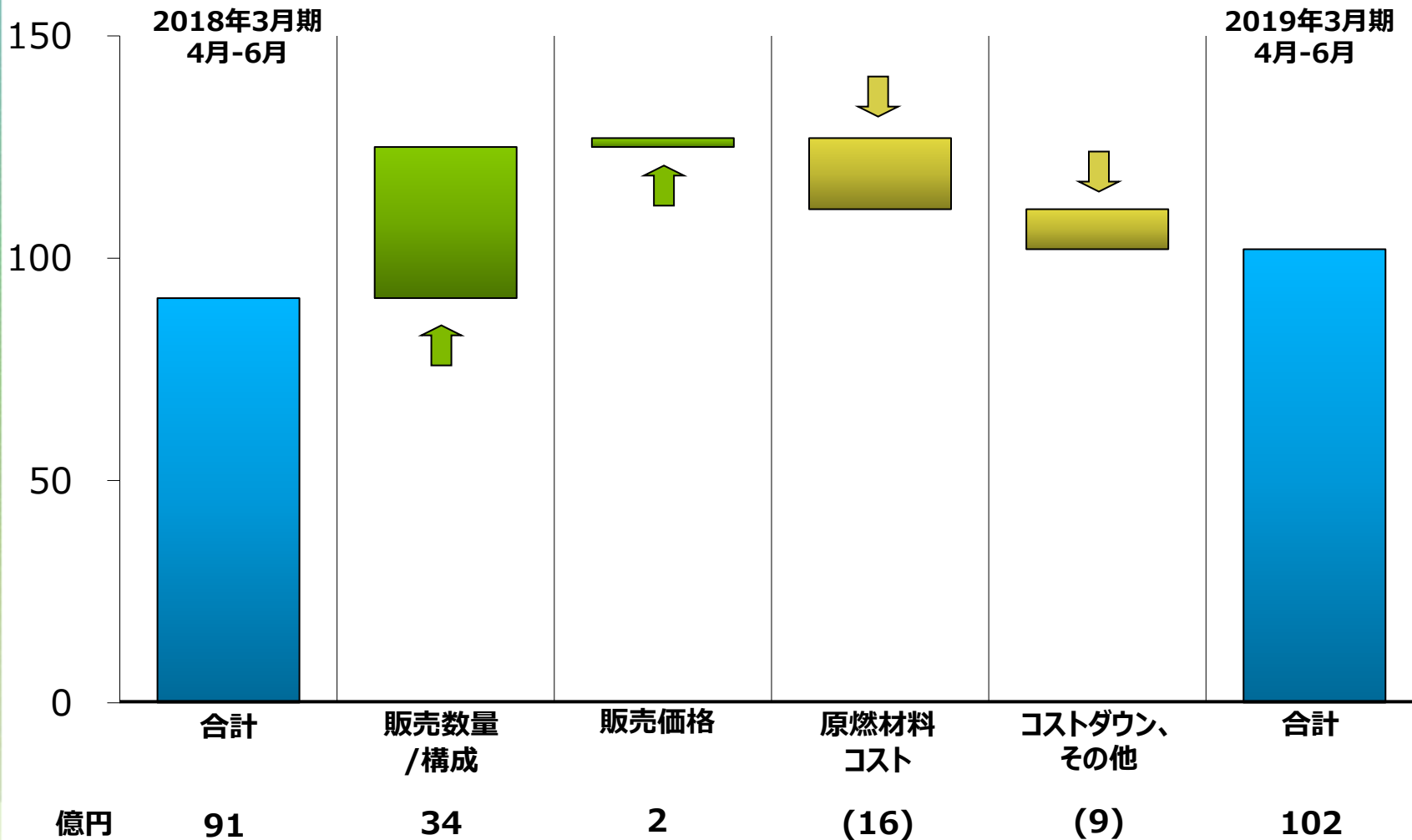
*1：IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

*2：ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

通期計画達成に向けて堅調なスタート

営業利益差異分析

(無形資産償却前)



投入コスト増加の影響を受けるも、数量・価格が改善

主要財務指標 (KPI)

	<u>2017年6月末</u> ^{*1}	<u>2018年6月末</u>	<u>2018年3月末</u> ^{*1}
ネット借入 (億円)	3,319	3,198	3,065
ネット借入/EBITDA	5.4x	4.9x	4.8x
ネット借入/純資産比率	2.4x	2.4x	2.1x
自己資本比率	17.1%	16.6%	17.1%
	<u>2018年3月期</u> <u>4月-6月期</u> ^{*1}	<u>2019年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>2018年3月期</u> ^{*1}
営業利益率 ^{*2}	6.3%	6.4%	6.3%

*1: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

*2: 無形資産償却前営業利益

前年同期対比でネット借入削減、ネット借入/EBITDAの改善

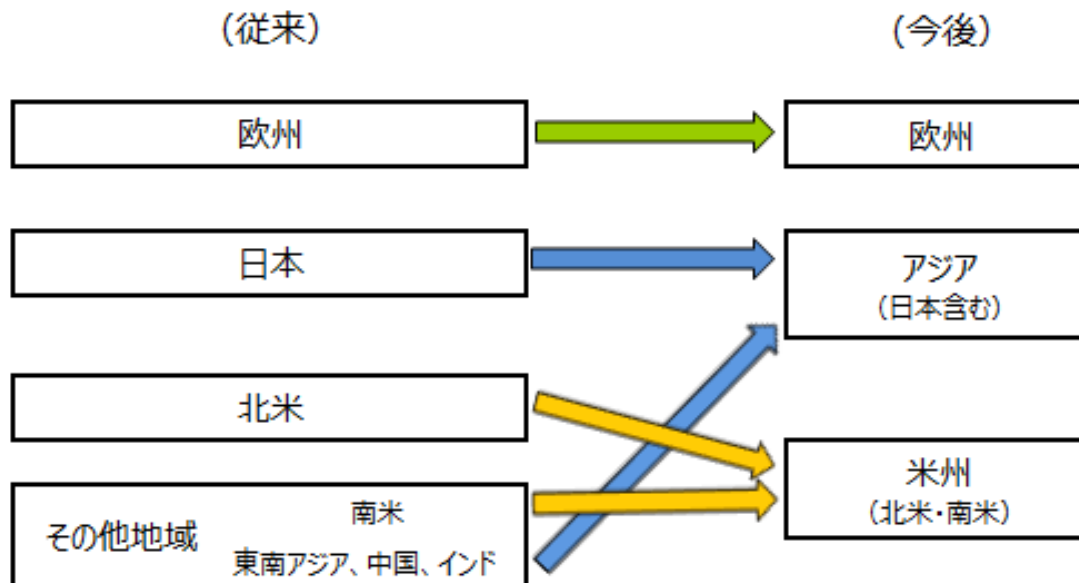
目次

1. 2019年3月期第1四半期 決算概要
2. 2019年3月期第1四半期 事業状況
3. その他の取り組み状況
4. まとめ

決算説明資料の様式変更および地域区分の変更について

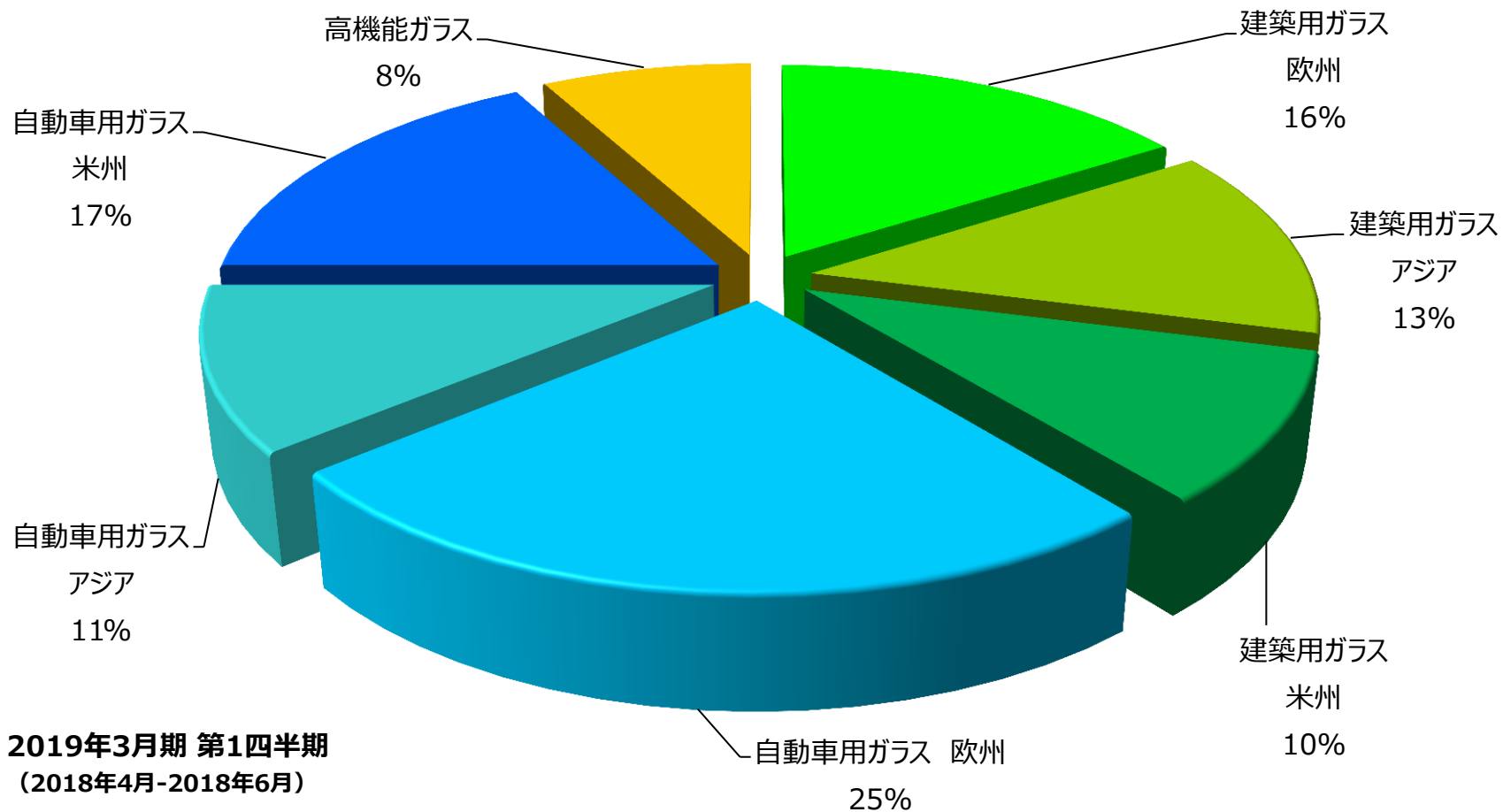
既存開示資料および内部管理体制等との一貫性確保のため、
今回より以下の変更を実施

- (1) 決算説明資料の説明様式を、「地域別」から「事業別」に変更
- (2) 開示地域区分を以下の通り変更
 - 各事業の売上の地域別明細を「欧州」「アジア」「米州」に
 - 地域別営業利益（補足資料に記載）は、上記3地域及び「その他部門（本社コスト）」に区分して表示



事業別売上高

1,584億円

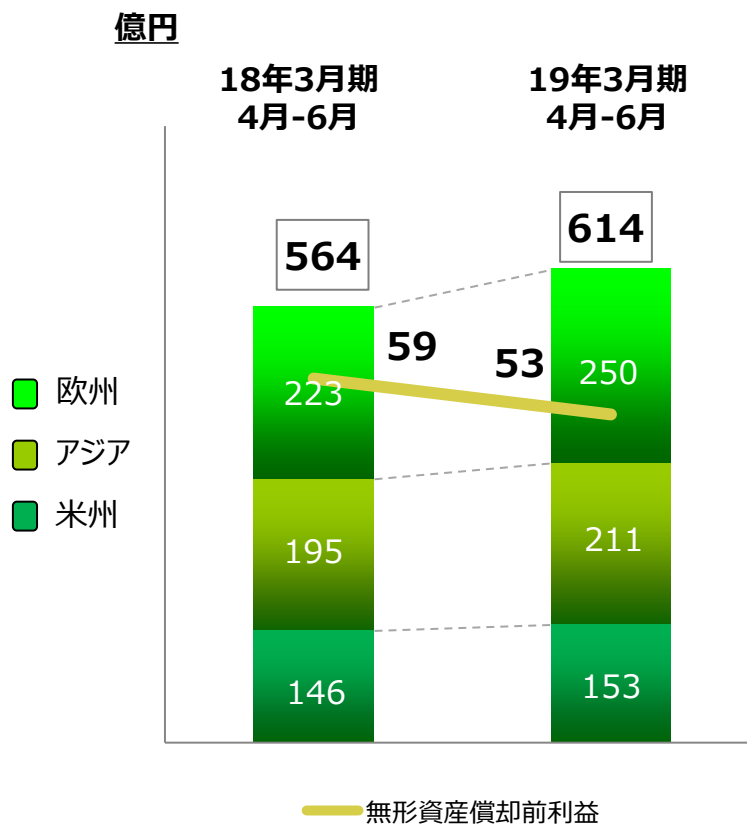


2019年3月期 第1四半期
(2018年4月-2018年6月)

グローバルに事業展開

建築用ガラス事業

2018年3月期第1四半期との比較



欧州（増収・減益）

- 数量、価格とも改善し増収の一方、定修コストや投入コスト増加の影響を受け減益

アジア（増収・増益）

- 日本は厳しい市況の中、売上は横ばい。原油価格上昇等によるコスト増の影響を受け減益
- 東南アジアはソーラー用ガラスの出荷増により増収増益

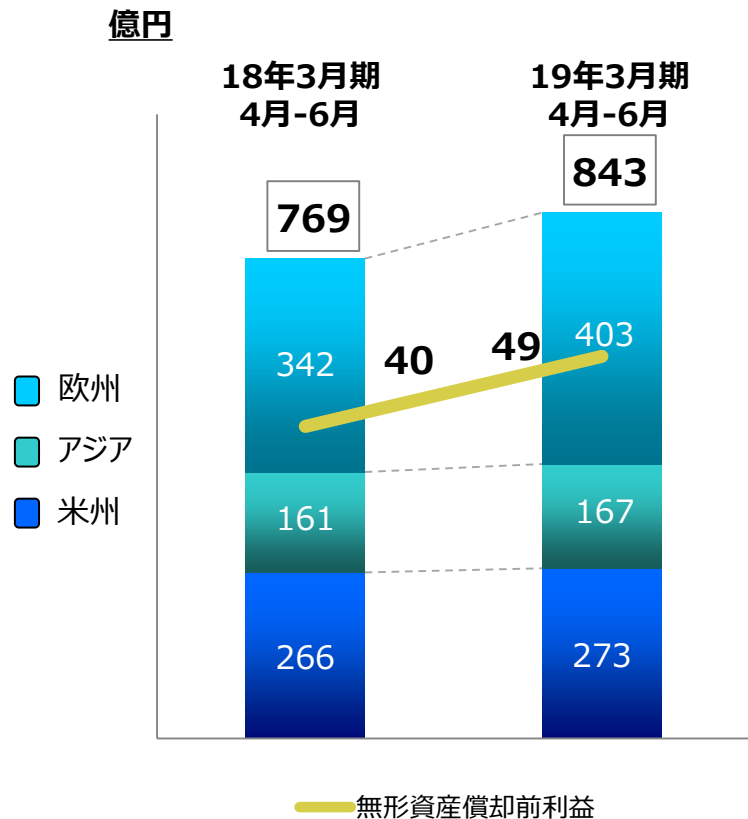
米州（増収・利益横這い）

- 北米は好調な需要とオタワ工場再稼働の効果で増収増益
- 南米は好調な市況を受け、現地通貨ベースで増益

欧州を中心に数量増による増収の一方、投入コスト増等の影響を受け減益

自動車用ガラス事業

2018年3月期第1四半期との比較



欧州（増収・増益）

- 堅調な市況に加え、当社VA製品出荷が新車用、補修用ともに好調で増収増益

アジア（増収・増益）

- 日本は出荷、生産ともに安定的に推移、売上・利益ともに伸長
- 東南アジアの売上は改善の一方、中国は減収

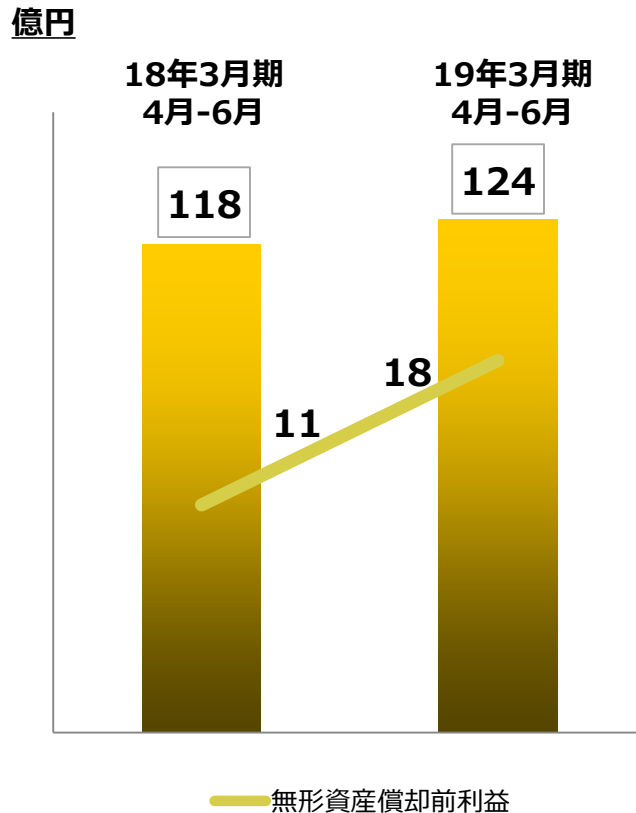
米州（増収・減益）

- 北米は出荷が堅調な一方、一過性費用の発生により減益
- 南米は数量回復により業績改善継続

ほぼ全地域で増収。欧州は販売増とVA比率上昇により増益

高機能ガラス事業

2018年3月期第1四半期との比較



高機能ガラス事業（増収・増益）

- ディ스플레이は売上増とコスト改善により損益改善
- プリンター用レンズの需要は底堅く推移
- グラスコードは自動車市況を反映し堅調
- メタシャインは自動車用塗料、化粧品向けの販売が増加
- バッテリーセパレーターの市場も好調

各製品とも市場は堅調

目次

1. 2019年3月期第1四半期 決算概要
2. 2019年3月期第1四半期 事業状況
3. その他の取り組み状況
4. まとめ

- **BIC（ビジネス・イノベーション・センター）**
 - ・7月1日に計画通り発足
 - ・センター長として石野執行役CDO（元・村田製作所）が就任
 - ・新規事業の開発育成加速、「Shift to “VA + Growth”」を推進
- **統合報告書**
 - ・当社グループ初の統合報告書を発行（7月30日）。
従来のアニュアルレポート、サステナビリティレポートを置き換え
 - ・価値創造プロセスと持続可能な成長に向けた取り組みについて紹介
(<http://www.nsg.co.jp/ja-jp/investors/ir-library/annual-reports>)

目次

1. 2019年3月期第1四半期 決算概要
2. 2019年3月期第1四半期 事業状況
3. その他の取り組み状況
4. まとめ

- **第1四半期決算**

- 前年同期比で増収増益。堅調なスタート
- 欧州を中心にVA製品の伸長や好調な市場環境を反映し、増収
- 欧州自動車用ガラスや高機能ガラス等での業績改善により営業増益
- 営業利益の改善や一過性の個別開示収益計上もあり最終利益も増益

- **今後の見通し**

- 第1四半期実績は計画通り。通期業績予想に変更なし
- 営業利益6期連続増益に向けて着実に前進

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 決算補足資料
 - 事業部門別・地域別売上高
 - 事業部門別・地域別償却前営業利益
 - 連結貸借対照表
 - 連結キャッシュ・フロー
 - 個別開示項目
 - 為替レート

事業部門別・地域別売上高

2018年3月期第1四半期との比較

<u>(億円)</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-6月期*</u>	<u>2019年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>増減</u>
建築用ガラス	564	614	50
欧州	223	250	27
アジア	195	211	16
米州	146	153	7
自動車用ガラス	769	843	74
欧州	342	403	61
アジア	161	167	6
米州	266	273	7
高機能ガラス	118	124	6
欧州	19	21	2
アジア	96	99	3
米州	3	4	1
その他	2	3	1
合計	1,453	1,584	131

*: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

IFRS第15号適用前：1,469億円（調整額：△16億円）

事業部門別・地域別償却前営業利益 ^{*1}

2018年3月期第1四半期との比較

<u>(億円)</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-6月期</u> ^{*2}	<u>2019年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>増減</u>
事業別			
建築用ガラス	59	53	(6)
自動車用ガラス	40	49	9
高機能ガラス	11	18	7
その他	(19)	(18)	1
合計	91	102	11
地域別			
欧州	54	58	4
アジア	26	36	10
米州	30	26	(4)
その他	(19)	(18)	1
合計	91	102	11

*1: 無形資産償却前営業利益

*2: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。
IFRS第15号適用前：92億円（調整額：△1億円）

連結貸借対照表

(億円)	2018年3月末 [*]	2018年6月末	増減
資産	7,886	7,636	(250)
非流動資産	5,308	5,192	(116)
のれん・無形資産	1,697	1,662	(35)
有形固定資産	2,441	2,405	(36)
その他	1,170	1,125	(45)
流動資産	2,578	2,444	(134)
現金及び現金同等物	648	532	(116)
その他	1,930	1,912	(18)
負債	6,449	6,285	(164)
流動負債	2,550	2,125	(425)
金融負債	976	720	(256)
その他	1,574	1,405	(169)
非流動負債	3,899	4,160	261
金融負債	2,751	3,042	291
その他	1,148	1,118	(30)
資本	1,437	1,351	(86)
親会社の所有に帰属する持分	1,352	1,270	(82)
非支配持分	85	81	(4)
負債及び資本	7,886	7,636	(250)

*: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

[資産] IFRS第15号適用前: 7,919億円 (調整額: △33億円)

[資本] IFRS第15号適用前: 1,428億円 (調整額: +9億円)

連結キャッシュ・フロー

(億円)

当期利益	
減価償却費	
減損損失(戻入)	
有形固定資産等売却益	
法人所得税支払額	
その他	
営業活動によるキャッシュ・フロー (運転資本の増減考慮前)	
運転資本の増加	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得	
資産売却収入	
その他	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
フリー・キャッシュ・フロー	

<u>2018年3月期</u> <u>4月-6月期</u> *	<u>2019年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
27	60
70	70
2	(26)
(2)	-
(14)	(32)
(2)	18
81	90
(137)	(130)
(56)	(40)
(66)	(64)
3	1
2	(3)
(61)	(66)
(117)	(106)

*: IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、修正再表示を行っております。

(フリー・キャッシュ・フローには影響はありません)

個別開示項目

(億円)	<u>2018年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>2019年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
有形固定資産等の減損損失戻入益	-	27
保険金の受取による利益	10	-
リストラクチャリング費用	(2)	(2)
設備休止に係る費用	(10)	-
その他	(2)	(1)
	<u>(4)</u>	<u>24</u>

**ベトナムの休止フロート再稼働に伴う減損戻入を実施。
通期の個別開示項目はリストラ費用等の計上により計画並みの想定**

為替レート

	<u>2018年3月期</u> <u>4月-6月</u>	<u>2018年3月期</u>	<u>2019年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
期中平均為替レート：			
円/英ポンド	142	147	149
円/米ドル	111	111	110
円/ユーロ	122	130	131
期末為替レート：			
円/英ポンド	146	150	145
円/米ドル	112	106	111
円/ユーロ	128	132	128

NSG

GROUP

